

平成28年度 すすき野中学校 「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針「豊かな心」達成目標

- お互いの違いを分かりあい、協働・共生できるように生徒の人権感覚・意識を育てるように指導します。
- 地域との関わりを大切にし、あいさつを基本に様々な関わりの中から生徒のコミュニケーション能力を育成し、自分の良さを感得できるよう指導しています。

児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

地域の行事に積極的に参加し、友だちや家族との繋がりも強い生徒が多い一方で、自分から進んで挨拶をするなど、人とのコミュニケーションをとることがやや苦手とする一面も持っている。自分から行動をおこして素直に自分の気持ちを表現することができないところもあるが、道徳的な価値観をしっかりと理解できている生徒が多い。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- 全教育活動を通して道徳教育の充実を図る。
- 学校行事を通して思いやりの心や協力する心を育てる。
- 地域行事への参加を通してコミュニケーション力を高める。

指針1「道徳の時間」の充実

- ・年間行事を見据えた道徳の主題やねらいを通して、学年の重点目標の実現をめざした取組を行う。
- ・道徳の年間計画を見直し、授業のねらいや年間行事との関連づけをしながら、授業時数を確保する中で道徳の授業の充実を図る。
- ・生徒の実態や学校生活に即した教材を提供し、授業を通して人権に対する意識も高めていく。

指針2 体験活動の充実

「合唱コンクール」「体育大会」「生徒会活動」「部活動」「生徒会主催行事」等による他学年との交流の中でコミュニケーション能力を高めるとともに、さまざまな体験を通して、仲間への思いやりや協力する心を育てる。